

# 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset Management

## 商品概要

商品分類	追加型投信/内外/株式
投資対象	主として世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
設定日	2023年5月30日
信託期間	無期限
決算日	年2回。原則、毎年4月26日および10月26日（休業日の場合は翌営業日）。

## 運用実績

基準価額	
基準日	2024年3月29日
基準価額	11,510 円
前月比	-219 円
純資産総額	17.47 億円
前月比	-0.88 億円

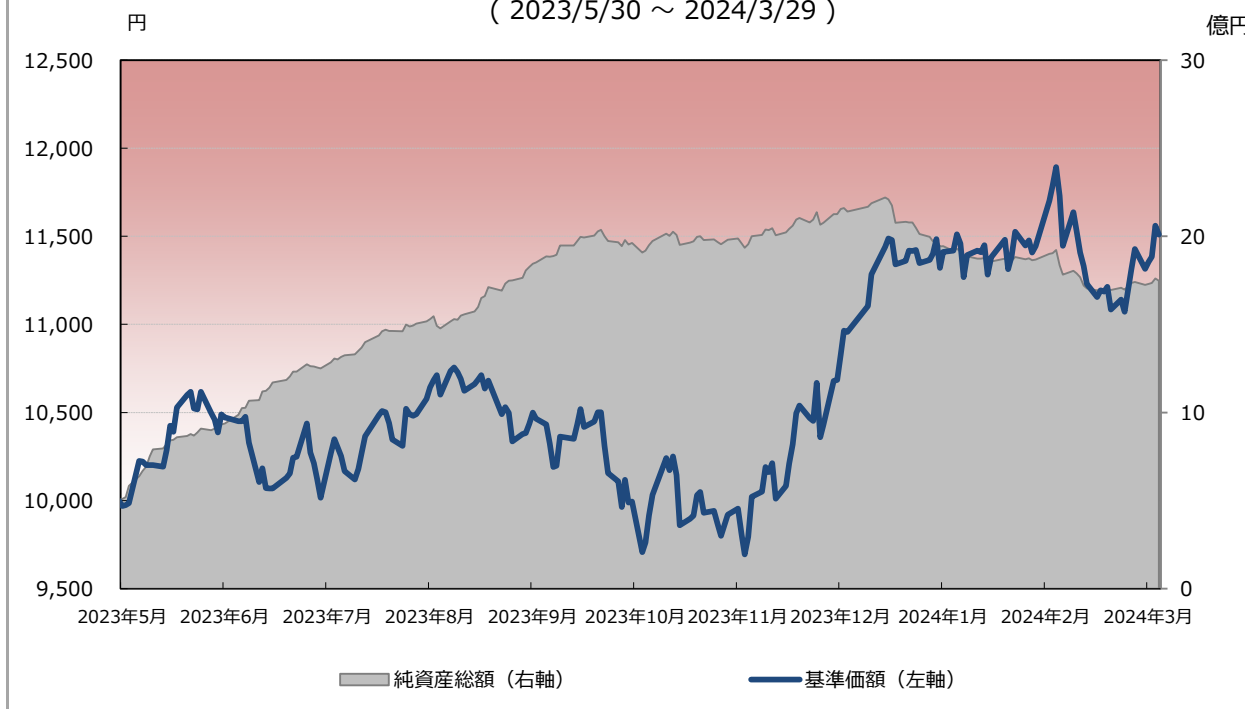
騰落率	
1 ヲ月	-1.9%
3 ヲ月	5.0%
6 ヲ月	10.0%
1 年	-
3 年	-
設定来	15.1%

分配実績（1万口当たり、税引前）		
第1期	2023年10月26日	0 円

※ ファンドの騰落率は税引前分配金を再投資した場合の数値です。騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。

### 基準価額・純資産総額の推移

( 2023/5/30 ~ 2024/3/29 )



記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

# 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset Management

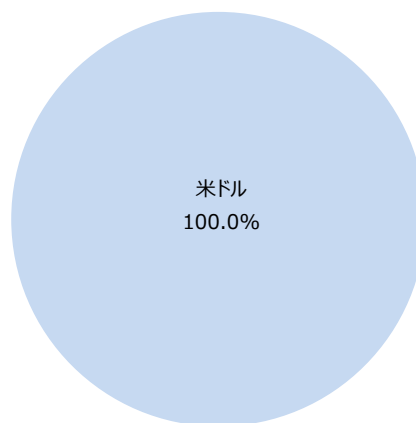
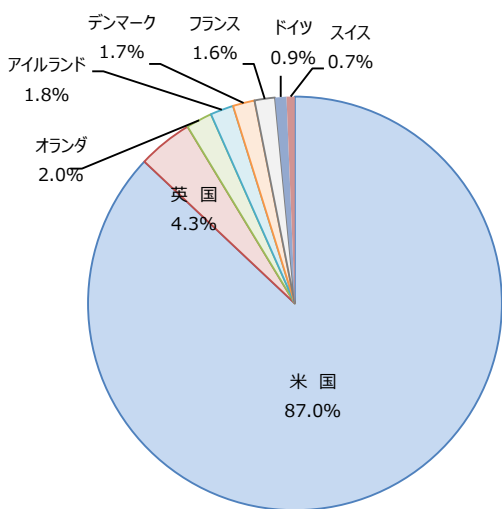
資産配分	
	純資産比
株式	98.8%
現金・その他	1.2%
合計	100.0%

組入銘柄数	59
-------	----

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

## 国別配分

## 通貨別配分



※上記の円グラフの組入比率は現金を除いた比率です。

※上記の円グラフの組入比率は現金を除いた比率です。

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ポートフォリオ部分に対する評価額の割合になります。

組入上位10銘柄				
順位	銘柄名	国	業種	構成比率
1	リジエネロン・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	9.0%
2	バーテックス・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	7.6%
3	アムジエン	米国	バイオテクノロジー	7.5%
4	ギリアド・サイエンシズ	米国	バイオテクノロジー	7.2%
5	アストラゼネカ	英国	医薬品	4.2%
6	モデルナ	米国	バイオテクノロジー	4.0%
7	バイオジェン	米国	バイオテクノロジー	3.9%
8	バイオマリン・ファーマシューティカル	米国	バイオテクノロジー	2.6%
9	アルナイラム・ファーマシューティカルズ	米国	バイオテクノロジー	2.5%
10	イルミナ	米国	バイオテクノロジー	2.3%

記載された事項は、キャピタルアセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

# 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset Management

## (ご参考) 株式指数・為替の推移

株式市場の推移

( 2023/5/30 ~ 2024/3/28 )



為替レートの推移

( 2023/5/30 ~ 2024/3/29 )



## マンスリーコメント

### ■2024年3月の市況

#### ○株式

3月のバイオ医薬関連株式市場は反落しました（米ドルベース）。

3月の米国市場は、月半ばにかけては米物価指標が市場予想を上回る上昇となり、米長期金利が上昇したことなどから上値の重い展開となりましたが、月後半には人工知能（AI）関連の需要拡大による企業業績の拡大への期待や米連邦公開市場委員会（FOMC）を受けた年央の米利下げ観測の高まりなどを背景に米主要株価指数が最高値を更新する展開となりました。一方、バイオ医薬関連株式市場は一部のバイオ製薬会社が臨床試験の失敗を発表したことなどをを受けて下落に転じることとなりました。

#### ○為替

米ドル：3月末 151.41 円（前月末比0.49% 米ドル高/円安）

3月の円ドル相場は、小幅な円安となりました。前月末1ドル=150円台にあった円ドル相場は、日銀のマイナス金利解除観測などを理由に、上旬には146円台まで円が買われました。その後、日銀がマイナス金利政策などを解除したものの、当面は低金利環境を続けるとの見方や、米景気の底堅さなどから151円台後半まで円が売られました。月末には日本政府・日銀による円安牽制の動きが警戒され、151円台で終わりました。

### ■運用状況

3月の当ファンドの基準価額は、反落しました。株式組入比率は高位を維持しました。3月末の組入銘柄数は59銘柄としました。

ALS（筋委縮性側索硬化症）治療薬の第3相臨床試験が失敗に終わり、株価が急落した米バイオ製薬会社アミックス・ファーマシューティカルズや、統合失調症を対象とした抗精神病薬の第3相臨床試験で主要評価項目が未達となったことが失望され、株価が大幅安となった同アカディア・ファーマシューティカルズなどがマイナスに影響しました。

### ■今後の見通し

世界的に不透明感が残る金融政策や実体経済の動向、地政学的リスクの高まりなどをを受けて、株式市場は不安定な動きが見込まれます。しかし、バイオ医薬関連銘柄は新薬承認を取り巻く環境が良好であることなどから比較的安定した推移が見込まれます。

また、バイオ医薬関連株式市場では、M&A（合併・買収）の動きが活発です。魅力的な新薬候補や高い技術力・研究開発力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬関連企業を買収する動きは今後も継続すると見られ、株価にはプラス要因になると考えられます。

一方、薬価の引き下げ圧力の動向に加えて、臨床データや治験結果の発表、決算の内容などには引き続き注視が必要です。

# 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset Management

## ファンドの特色

■ 世界各国・地域の取引所に上場しているバイオ医薬関連企業が発行する株式等に投資し、信託財産の中長期的な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。

※ なお、市況動向および資金動向により、上記の様な運用が行えない場合があります。

銘柄選定にあたっては、カナダの運用会社であるセクトラルアセットマネジメントのアドバイスを受けます。

- セクトラルアセットマネジメント  
カナダのモントリオールに本拠を置く独立系のプライベート運用会社  
バイオテックを含むヘルスケア投資のエキスパート  
ピクテ社でヘルスケア投資に携わってきた2名の出身者が設立

## ファンドに係わるリスクについて

当ファンドの基準価額は、主に以下の要因により、変動することが想定されます。

株式の価格変動リスク	当ファンドは、主に海外の株式に投資しますので、当ファンドの基準価額は、株式の価格変動の影響を受けます。株式の価格は政治経済情勢、発行企業の業績、市場の需給を反映して変動し、短期的または長期的に大きく下落することがあります。このような場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
為替変動リスク	当ファンドは、主に外貨建ての株式に投資します（ただし、これに限定されるものではありません）。投資している通貨が円に対して強く（円安に）なればファンドの基準価額の上昇要因となり、弱く（円高に）なればファンドの基準価額の下落要因となります。したがって、投資している通貨が対円で下落した場合には、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
カントリーリスク	海外に投資を行う場合には、投資する有価証券の発行者に起因するリスクのほか、投資先の国の政治・経済・社会状況の不安定化や混乱などによって投資した資金の回収が困難になることや、その影響により投資する有価証券の価格が大きく変動することがあり、基準価額が下落する要因となります。
信用リスク	株式を発行する企業が、経営不安・倒産等に陥った場合、投資した資金が回収できなくなることがあります。また、こうした状況に陥ると予想された場合、当該企業の株式等の価値は下落し、当ファンドの基準価額が下がる要因となる可能性があります。
流動性リスク	急激かつ多量の売買により市場が大きな影響を受けた場合、または市場を取り巻く外部環境に急激な変化があり、市場規模の縮小や市場の混乱が生じた場合等には、機動的に株式を売買できないことがあります。このような場合には、効率的な運用が妨げられ、当該株式の価格の下落により、当ファンドの基準価額が影響を受け損失を被ることがあります。
解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動リスク	解約によるファンドの資金流出に伴い、保有有価証券等を大量に売却しなければならないことがあります。その際には、市況動向や市場の流動性等の状況によって、保有有価証券を市場実勢と乖離した価格で売却せざるをえないこともあり、基準価額が大きく下落することがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。

記載された事項は、キャピタルアセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。

## 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset  
Management

## お客様にご負担いただく費用

①ご購入時に直接ご負担いただく費用

■購入時手数料：お買付申込日の翌営業日の基準価額に対して、**3.3%(税抜3.0%)**を上限として販売会社が個別に定める料率を乗じて得た金額

②ご解約時に直接ご負担いただく費用

■信託財産留保額：解約請求日の翌営業日の基準価額に対して**0.3%**

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

■信託報酬：信託財産の純資産総額に対して**年率1.925%(税抜1.75%)**

■その他費用：有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※上記の費用（手数料等）の合計額は保有される金額および期間等により異なりますので、予め表示することが出来ません。

※詳しくは「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

【お申込に際してのご注意】

1.当ファンドは、海外の株式等の値動きのある有価証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。また、ファンドは預金または保険契約ではなく、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。

2.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。

3.この資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは予想するものではありません。

4.本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

## 課税関係

課税上は株式投資信託として取扱われます。

公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA（少額投資非課税制度）の適用対象となります。

当ファンドは、NISAの「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。

益金不算入制度、配当控除の適用はありません。

※上記は、2023年11月末現在の情報をもとに記載しています。税法が改正された場合等には、変更される場合があります。

## 委託会社その他関係法人の概要

■委託会社：信託財産の運用業務等を行います。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第383号

加入協会：一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会

■受託会社：信託財産の保管・管理業務等を行います。

三井住友信託銀行株式会社

# 世界バイオ医薬株式ファンド

追加型投信/内外/株式

Capital Asset Management

■販売会社（五十音順）

金融商品取引業者名	登録番号	日本証券業協会	日本一般投資顧問業協会	金融先物取引業協会	第一種金融商品取引業協会
株式会社イオン銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第633号	○			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第44号	○		○	○
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 株式会社SBI証券)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号	○		○	
株式会社SBI新生銀行(委託金融商品取引業者 マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長（登金） 第10号	○		○	
キャピタル・パートナーズ証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第62号	○			○
大熊本証券株式会社	金融商品取引業者 九州財務局長（金商） 第1号	○			
東武証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第120号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第165号	○	○	○	○
丸八証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長（金商） 第20号	○			
明和証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第185号	○			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第195号	○	○	○	○

【留意事項】

- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が作成した情報提供資料であり、金融商品取引法により義務づけられた資料ではありません。お申込の際には、投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめあるいは同時にお渡ししますので、必ず内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。
- 本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の運用成果および市場環境の変動を保証もしくは示唆するものではありません。
- 本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
- 本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。また、市況の変動等により、方針通りの運用が行われない場合もあります。

記載された事項は、キャピタル アセットマネジメント株式会社が信頼できると考えられる情報に基づき作成したものです。正確性、完全性を保証するものではありません。記載内容等は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。

取得申込に際しては必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容をご確認ください。